くじ市議会だより

第16号
２００９年
（平成21年）
11月１日発行

― 豪華絢爛な８台の手づくり山車が秋の夜を彩った久慈秋まつり前夜祭 ―

主な内容

・市議会を読む　９月定例会……２～３
・委員会の審査から……４～５
・一般質問……６～11
・他市に学ぶ……12～13
・傍聴席からひとこと……14

発行／久慈市議会　編集／久慈市議会広報編集特別委員会　電話（直通）0194-52-2188
〈ホームページ〉http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/

大川目中継局建設予定地からの眺め

市議会を読む

◎第16回市議会9月定例会

地域医療確保対策条例を可決

医師養成奨学資金貸付条例を全部改正し、貸付対象を現役医師にまで拡大

第16回市議会9月定例会は、8月28日から9月11日までの15日間開かれました。

9月定例会では、平成20年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算、平成21年度一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計補正予算、国民健康保険条例の一部改正条例及び地域医療確保対策条例など市長提出議案18件について審議し、すべて原案のとおり可決、認定しました。

また、各会派を代表して4人の議員が、個人で2人の議員が市政の諸問題について一般質問を行いました。

補正予算

●平成21年度一般会計補正予算（第4号）

今回の補正は、国の経済危機対策に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源とした事業費に加え、緊急雇用創出事業などに係る経費等を計上したもので、既定の予算額に歳入歳出それぞれ1億7410万3千円を追加し、補正後の予算総額は201億2580万8千円となりました。

主な補正の内容は次のとおりです。

・地上デジタル放送対策事業
大川目中継局整備に係る放送事業者に対する補助
2141万1千円

・学童保育所運営費補助金
久慈地区学童保育所の分割に伴う補助金
218万5千円

・医師養成奨学金貸付金
市内の医師不足解消対策として学生のほか市内に勤務する医師への貸付金
1000万円

・部分林分収交付金
国有林の分収造林売買に伴う部分林組合等への交付金
307万2千円

・道路新設改良事業
単独での市道整備費
1000万円

・文化会館改修事業
せせらぎの池改修等
1900万円

・枝成沢小学校閉校事業実行委員会補助金
53万円

・図書館運営管理費
図書館システムの統合
1500万円

●平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定に出産育児一時金の引き上げに伴う経費など歳入歳出2123万3千円を追加し、予算総額を43億1281万8千円とするもので、原案のとおり可決しました。

議案等審議結果

第15回市議会臨時会

【補正予算】

○平成21年度久慈市一般会計補正予算（第３号）	原案可決＝全会一致

第16回市議会９月定例会

【決　　算】

○平成20年度久慈市一般会計歳入歳出決算	認　　定＝賛成多数
○平成20年度久慈市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認　　定＝賛成多数
○平成20年度久慈市老人保健特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認　　定＝賛成多数
○平成20年度久慈市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	認　　定＝全会一致
○平成20年度久慈市水道事業会計決算	認　　定＝全会一致

【補正予算】

○平成21年度久慈市一般会計補正予算（第４号）	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決＝全会一致

【条 例 等】

○国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○地域医療確保対策条例	原案可決＝全会一致
○字の区域の変更に関し議決を求めることについて	原案可決＝全会一致
○公営住宅整備事業栄町地区市営住宅建替主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	原案可決＝全会一致
○財産の取得に関し議決を求めることについて	原案可決＝全会一致

第17回市議会臨時会

【人　　事】

○農業委員会委員の推薦について	推　　薦

条例等

９月定例会では、５件の条例等を審議、可決しましたので、その概要について紹介します。

●国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成21年10月から平成23年３月までの間の出産に係る出産育児一時金の額を４万円引き上げようとするもの。

●地域医療確保対策条例

医師養成奨学資金貸付条例の全部を改正し、医師養成奨学資金の貸し付け、並びに滞在及び赴任に要する資金の貸し付けを行うことにより、地域医療体制の確保を図ろうとするもの。

●字の区域の変更に関し議決を求めることについて

大川目地区ほ場整備に伴い、大川目町の字の区域の変更をしようとするもの。

●公営住宅整備事業栄町地区市営住宅建替主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

栄町地区市営住宅建替主体工事の施工に伴い、宮城建設株式会社と３億３９１５万円で請負契約を締結しようとするもの。

●財産の取得に関し議決を求めることについて

岩手いすゞ自動車株式会社久慈営業所から道路除雪用ロータリー除雪車１台を、２２４４万９０００円で買い入れようとするもの。

第15回臨時会

第15回市議会臨時会は７月24日に開催され、市長提出議案１件について審議し、原案のとおり可決しました。

補正予算

●平成21年度久慈市一般会計補正予算（第３号）

今回の補正は、国の経済危機対策に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金等を財源とした事業に加え、緊急雇用創出事業費の追加及び災害復旧事業に係る経費を計上したもので、10億４２３０万２千円を追加し、補正後の予算総額は１９９億５１７０万５千円となりました。

第17回臨時会

第17回市議会臨時会は10月８日に開催され、議長提出議案１件について審議しました。

人事

●農業委員会委員の推薦について

市長から推薦要請のあった農業委員に次の４人を推薦しました。

宇部　繁　氏（宇部町）
外里ウメ子　氏（大川目町）
大鹿糠　正　氏（畑　田）
大矢内利男　氏（山形町）

委員会の審査から

総務、教育民生、建設の各常任委員会は9月4日に、決算特別委員会は9月8日・9日の2日間開催し審査しました。

総務

総務委員会に付託された議案2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●字の区域の変更に関し議決を求めることについて

県営土地改良事業で進めている大川目地区ほ場整備事業の完成に伴い、土地改良法による大川目町の字の区域の変更をしようとするもの。

【問】換地業務の主体はどこになるのか。また、市で購入予定の土地について、地番の割振りかた、字の区域の変更箇所に該当するのか、及び購入代金の流れは。

【答】換地調整業務は大川目地区事業運営委員会が、実際の登記事務は県土地改良区連合会が主体となって行うものである。

地番については旧来の地番の中で工事されており、これから換地処分により地番が割り振られる。また、当該箇所は一部、今回の字の変更箇所に該当している。購入代金については、市から土地改良区に支払いとなり、これら市及び県で購入した創設用地費は、権利者会議で受益者の同意を得、その中で清算されることとなる。

そのほか、作業道及び用水路の管理などについて質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

現地調査をする総務委員

教育民生

教育民生委員会に付託された議案2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●地域医療確保対策条例

医師養成奨学資金貸付条例の全部を改正し、医師養成奨学資金の貸し付け、並びに滞在及び赴任に要する資金の貸し付けを行うことにより、地域医療体制の確保を図ろうとするもの。

【問】奨学金を月額20万円とした根拠は。また、保証人を2名とする理由は。

【答】全国の奨学金制度及び大学の授業料や入学金を勘案し、授業料相当額を基本に算定した。保証人について、奨学金の場合は、貸付対象が学生であることから、一人は親を想定しており、もう一人は第3者を考えている。他の奨学金制度も同様の考えから通常2名にしている。

滞在等資金の場合は、本人が医師であることや、県立病院を経由しての申し込みを予定していることから、現時点では病院長を保証人とすることで考えている。

そのほか、対象者の範囲、全国的な医師確保の動向、他の制度との併用の可否、条例の改正方法、貸付期間及び着任期間、返還利息の根拠、研修医に対する奨学金の取り扱い及び開業した場合の取り扱い、医師が定着するための調査の有無、制度のPR方法などの多くの質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設

建設委員会に付託された議案1件を審査しましたので、その概要を紹介します。

●公営住宅整備事業栄町地区市営住宅建替主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

栄町地区市営住宅建替主体工事を施工するにあたり、宮城建設株式会社と3億391万円で請負契約を締結しようとするもの。住戸数24戸、地上3階建て鉄筋コンクリート造り、延べ床面積1937・40㎡。主体工事のほか造成工事、電気設備工事、管設備工事及び外構工事等で総事業費は予算額で約5億6千万円となる。

【問】現在居住している世帯の入居希望状況は。

【答】現段階ではほぼ全戸の入居希望があり、来年4月に最終確認の予定となっている。

そのほか、家賃、工事費の総額や設備の内容、周辺道路等への影響等について質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

栄町地区市営住宅完成予想図

平成20年度　会計別決算状況

区分		予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計		223億5, 583万円	217億3, 393万円	209億9, 104万円	7億4, 289万円
特別会計	土地取得	2, 442万円	2, 442万円	2, 442万円	0円
	国保事業勘定	43億4, 576万円	43億1, 293万円	41億5, 592万円	1億5, 701万円
	国保直診勘定	3億　383万円	2億9, 317万円	2億9, 317万円	0円
	老人保健	3億　723万円	2億9, 086万円	2億9, 292万円	△206万円
	後期高齢者医療	2億4, 201万円	2億3, 676万円	2億3, 648万円	28万円
	介護サービス	1億1, 202万円	1億 464万円	1億　291万円	173万円
	魚市場	2, 655万円	2, 624万円	2, 624万円	0円
	漁業集落排水	3億9, 301万円	3億8, 984万円	3億8, 984万円	0円
	工業団地造成	1, 854万円	1, 854万円	1, 854万円	0円
	公共下水道	20億3, 654万円	20億3, 018万円	20億3, 018万円	0円
	計	78億　989万円	77億2, 758万円	75億7, 061万円	1億5, 697万円
合計		301億6, 572万円	294億6, 151万円	285億6, 166万円	8億9, 985万円

水道事業会計	収益的	7億　476万円	6億9, 254万円	1, 222万円
	資本的	5億4, 070万円	7億3, 574万円	△1億9, 504万円

（注１）１万円未満四捨五入。（注２）端数処理のため合計が不一致となる場合があります。
（注３）△は、マイナスを示す。

平成20年度決算
一般会計ほか10会計を審査

髙屋敷決算特別委員長

決算特別

平成20年度の一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに水道事業会計の決算認定11議案について、初日に議長及び議会選出の監査員を除く決算特別委員会（髙屋敷英則委員長）を設置し、9月8日と9日の2日間、委員会を開催し審査しました。

定例会の最終日の本会議で一般会計、国民健康保険及び後期高齢者医療特別会計の決算は賛成多数により、そのほかの特別会計は全員異議なく、認定しました。

委員会での主な質疑は次のとおりです。

【問】平成20年度のふるさと納税の寄附状況はどのようになっているのか。

【答】ふるさと納税の寄附は10件、55万5000円となっている。目的別では、地域活動の支援が3件、福祉の充実が3件、市への委任が3件、人材の育成の推進、環境の保全、産業の振興がそれぞれ1件。そのほか具体的な要望として繋小学校の図書の充実と合わせて延べ13項目となっている。

【問】債務負担行為が大幅に増えた主な要因は。

【答】平成21年度以降の支出予定額は、29億8200万円となっており、前年度より9億7400万円ほど増えた。その原因は平成21年度から5年間の指定管理施設委託料が加わったことによるものである。

【問】特定健診の受診率が目標の30％に達しなかった要因と目標に向けた取り組みの改善点を示せ。

【答】平成20年度の国民健康保険における特定健康診査の受診率は、目標の30％に対し23・7％という非常に厳しい結果となった。

40歳代、50歳代の受診率が10％以下と低いことから未受診者の実態調査を行い原因等の分析をして対応していきたい。

また、今年度は、土曜日・日曜日にも健診日を設定し、受けやすい環境を整える。

【問】地下水族科学館「もぐらんぴあ」の入館者が増えた要因は。

【答】大きな要因は、平成20年3月のリニューアルによるものと考えている。それ以外にも土風館のオープンもあり、平庭高原や琥珀などの施設も増えている。

【問】消防団員にライフジャケットを装備すべきでは。

【答】消防団員へのライフジャケットの装備はしていないが今後、装備に向けた検討をしていきたい。

一般質問

新政会　澤里富雄　議員

ゲリラ豪雨に備えたハザードマップが必要では

市長―危険箇所の周知に有効であり作成を検討したい

【問】ゲリラ豪雨の場合、避難指示や勧告が間に合わないことも考えられるので、洪水や土砂災害時に備えたハザードマップが必要ではないか。

【答】近年「ゲリラ豪雨」の発生が全国各地で増加傾向にあり、急激な増水による被害や土砂災害等が発生している。

ゲリラ豪雨は局地的に発生し、短時間で大雨をもたらすため、災害の発生について予測は困難であり、その対応には苦慮している。

土砂災害や洪水等のハザードマップは、市民に危険な箇所を周知する情報提供の有効な手段と考えているが、作成には多額の費用がかかることから今後、財政状況等を見ながら作成に向け検討していきたい。

市税の滞納どう対応するのか

【問】平成20年度市民税等の不納欠損処分状況は。

【答】税負担の公平性と市税収入を確保するため、徴収事務に努めているが、担税力が乏しく滞納処分できる財産等がない場合は、地方税法及び国税徴収法の規定に基づき、不納欠損処分をしている。

一般税では延べ881件で約4700万円となっており、前年比269件、約1500万円の増加。また、国保税では1048件で約7500万円となっており、前年度に比べ299件、約3500万円の増加となっている。

税収の確保と収入未済額の減少を図るため、引き続き個別滞納者の実情把握に努め、滞納処分等を実行していきたい。

【問】宇部地区におけるほ場整備についての説明会を何度か開催し、アンケート調査も実施したと聞いているが、進捗状況と今後の計画は。

【答】説明会を平成20年度は2回開催し、本年6月には3月に行ったアンケート調査の結果等についての説明会を開催している。

また、7月には久慈地方振興局農政部農村整備室の主催で、地区の農家27名の参加により秋田県鹿角市の先進地視察が行われた。

現在、地区内では県単独事業での調査事業導入に向けて各農家の同意書収集を行っていると聞いており、市としては同意状況等を見きわめ、調査事業及びほ場整備事業導入の検討をしていく考えである。

宇部地区の未整備水田

【その他の質問項目】

市道和野平線の側溝整備／市営野球場の今後の計画／地元企業の育成と入札制度／久慈広域行政研究会の雇用奨励金補助制度／地震防災対策／ホウレンソウ生産向上対策／クマ対策／市営住宅　ほか

各会派の関連質問

一般質問は、9月2日・3日の2日間行われ、各会派を代表して、澤里富雄、桑田鉄男、小野寺勝也、畑中勇吉の各議員が代表質問を、小倉建一、梶谷武由の各議員が個人質問を行いました。

また、各会派では関連質問を行いました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

新政会

◆上山　昭彦　議員

防災メール配信の導入を

【問】携帯電話やパソコンへの防災メール配信導入の考えはないか。

【答】防災情報の正確な伝達は必要不可欠で、防災メール配信も有効な方法である。県

●一般質問 ―― 政和会 桑田鉄男 議員

宇津目坂・麦生に展望場所を確保すべきでは

市長―市内の優れた景観を調査し活用を研究したい

【問】宇津目坂、半崎・麦生間に展望場所確保の考えは。

【答】当市は豊かな自然、優れた景観が随所にあり、今後市内各所を調査しその活用について研究してみたい。

麦生から望む久慈湾

【問】新型インフルエンザ対策を示せ。

【答】予防対策については市民に手洗、うがい等の励行の周知徹底を図りたい。

感染者発生時の対応は原則一般医療機関での受診となり、事前に連絡し医療機関の指示に従って受診することとなっている。

学校・保育施設等の対策は、7日以内に複数の患者を把握した場合、施設の設置者等が保健所と協議し判断することとなっている。

市としても感染拡大を最小限に抑えるため今後とも県等の関係機関と連携し、市民への適切な情報提供など必要な対策を講じていきたい。

農林水産物に付加価値を

【問】農業の具体的な振興策は。また、農産物等に付加価値を付けていくべきでは。

【答】農業の振興については、農業従事者の減少や高齢化の進行の現状から担い手の育成・確保が課題である。認定農業者や集落営農組織への誘導、新規就農者の掘り起こしと支援に努めたい。水田農業は契約栽培米による特色ある米づくりや国の米政策を活用した転作奨励作物の作付による所得確保を推進している。

農商工連携、6次産業化が話題となっており、県北地域は食産業の振興が注目すべき課題として浮上している。農林水産物を工業や食産業などと結びつけることにより活用が図られることから市でも各部が連携し取り組みたい。

【問】林業関係事業の状況と漁業の振興策は。

【答】市有林は森林の多面的機能を発揮させるため除間伐など森林整備を実施している。「企業の森」については今後企業等の訪問を行う予定である。

漁業については「つくり育てる漁業」を推進するとともに漁港・漁場の環境整備を推進し振興に努めていく。

【問】市道堀切南線の改良整備の見通しは。

【答】この路線は、住民の方々や地域にとって重要な路線であると認識している。限られた予算の中で緊急性、重要性などを勘案し検討したい。

【その他の質問項目】

久慈地区し尿処理場の改修／定額給付金の申請状況／自然災害への対応／マイマイガ対策の効果／保育料の軽減による子育て支援／低温等農作物への影響／プレミアム付商品券の効果／教育事務所の再編計画案／新学校給食センターの特徴　ほか

では「いわてモバイルメール」サービスを実施しており、久慈地域の各種警報・注意報の発令や地震情報なども受信できることから、利用啓発を図るとともに、今後研究していきたい。（その他の質問／新型インフルエンザ対策　ほか）

◆泉川　博明　議員

諏訪下埠頭の利用促進を

【問】久慈港諏訪下埠頭の利用促進をどのよう考えているのか。

【答】珪石の事業中止や景気低迷により取扱貨物量の減少が見込まれ、貨物の確保が喫緊の課題であると認識している。

今後は7～8年後に湾口防波堤の南堤完成が見込まれることから諏訪下地区の静穏度及び利便性の向上を積極的にPRしながら、ポートセールスを強化するほか、八戸港との連携についても可能性を探っていきたい。（その他の質問／交通安全対策）

一般質問

日本共産党久慈市議団　小野寺　勝　也　議員

低所得者の医療費減免を

市長―国の基準等を参考に検討したい

【問】国民健康保険法44条は「特別の理由があり一部負担金を支払うのが困難な場合、自治体が負担金を減免猶予できる」としている。

今年6月、政府は医療費減免に財政支援する方針を決め積極的活用を地方自治体に求める通知をしている。

所得が少なく医療費負担に苦しむ人のために、国の助成支援を活用し制度の創設をすべきでは。

【答】政府は来年度中に一定の基準を設ける予定としており、それを参考に国保財政の状況をみながら検討したい。

【問】障害者控除は、要介護認定を受けた人または扶養する家族の所得税、住民税を一定額控除する制度である。制度の周知徹底を図るべきでは。

県立久慈病院

【答】制度の周知に努めているが、地域包括支援センターやケアマネージャーとの連携、市広報などで更に周知徹底を図りたい。

【問】今年4月からの介護認定の新方式は、判断基準が大きく変わり、重度の寝たきり状態の人が自立と認定されるなど問題が多い。検証結果と改善策を示せ。

【答】政府の検討会で検証された調査によると、非該当者及び軽度者の割合が増え、43項目の見直しをした。新たな方法で10月1日から認定を開始し、経過措置は解除する。

4月から9月に新しく認定された人にも再認定を促していきたい。

【問】新築町、田高地区及び上長内ヤマイチの東側付近は大雨のたびに被害を受けている。浸水解消策を示せ。

【答】下水道雨水排水計画により整備を進めているが、同地域は事業認可区域外にある。22年度までの認可区域の見直しの中で検討していく。

通学橋付近の歩道設置は

【問】小久慈町の通学橋と市道小久慈線間の歩道設置の見通しは。

【答】現在、整備手法について国・県と協議中であり、市道上長内日吉町線の歩道整備の進捗状況をみながら検討したい。

【問】住所が親元にありながら他県の大学などに行っている学生は「生活の本拠地ではない」との理由で住所地での投票ができない事例が発生し問題となっている。速やかな改善を図るべきでは。

【答】昭和29年の自治庁次長通知で、修学のため寮、下宿等に居住する学生の住所は、その寮、下宿などの住所地とされ、投票できなくなっている。苦情が多いことから、県選管を通じ統一見解を求めていく。

◆木ノ下　祐治　議員

市税の滞納、解決方法は

【問】市税の未収金が増加しているが滞納の解決方法は。

【答】滞納者には従来から督促、文書催告、電話催告、訪問徴収、納付相談や分割納付等を行っている。現在は財産、給与等の差押えや滞納整理機構による対応も行っており、引き続き鋭意努めていく。

今後は租税に関する教育等も含めながら多面的に取り組んでいきたい。（その他の質問／市有林の管理）

◆中平　浩志　議員

市内業者に優先発注を

【問】税収確保と地元企業育成のため、市内業者に優先的に発注すべきでは。

【答】当市では原則、指名競争入札を行っており、業者選定に当たっては、入札参加資格者名簿に登載されている市内業者を優先し、選定している。

今後とも、市内業者を優先的に選定し、受注機会を与えるよう努めていきたい。（その他の質問／久慈広域行政研究会　ほか）

●一般質問 ―― 清風会 畑中勇吉 議員

超高速ブロードバンドのエリア拡大は

市長―ブロードバンドゼロ地域解消を目指す

【問】 近隣市町村では、防災無線や地デジ対応にあわせ超高速ブロードバンド整備に着手しているが、国への補助申請にあたっては産業振興・医療・福祉への活用など、国家戦略に沿った形で独自の施策を盛り込んでいる。当市の超高速ブロードバンドのエリア拡大計画と施策内容、将来構想は。

また、無線ＬＡＮカードの整備費について国の地域情報通信基盤整備推進交付金の活用はできるのか。

【答】 超高速ブロードバンドとは、主に光ファイバーを用いたものであり、市ではＡＤＳＬや3・5世代携帯電話のブロードバンドによる「ブロードバンドゼロ地域」の解消を目指している。今後は産業振興や医療・福祉等への活用方策について検討していきたい。固定無線アクセスへの国の交付金活用は可能である。

【問】 地理的条件等が異なる理由から漁業集落環境整備事業の対象とならず、環境省の合併処理浄化槽整備事業による整備となった場合、漁業集落環境整備事業による集合処理世帯に比べ世帯負担が3から4倍増となる。このことから不公平感が大きいため同一事業により均一負担となるよう要望すべきでは。

【答】 浄化槽を連携整備事業で設置した場合、施設供用開始後の維持管理体制、使用者との責任分担、管理コストの課題が想定されることから、現行制度の中で事業推進したい。

【問】 国の指定する特定疾患等において、介護保険適用により、医療機関等による継続診療が受けられない実態と医療保険による助成及び公的助成が受けられない実態がある。

患者等の意見を把握して関係機関に要請すべきでは。

【答】 保健所からは特定疾患の電話相談が一件あったと聞いている。

制度上の問題であれば、医療制度、介護保険制度について関係機関と研究したい。

【問】 八戸・久慈自動車道などの新たな公共構造物の建設により地上デジタル放送の受信環境が変化した場合、受信調査や受信不能の改善について公的助成が受けられるのか。

【答】 放送開始後については公的助成の対象外であり、原因者の責任において対応されるべきと考えている。

【問】 旧麦生小中学校校舎及び教員住宅の活用に向けた取り組み状況は。

【答】 本年度になり、美術関係者から「校舎を芸術、文化、コミュニティ施設として活用し、芸術の振興も図る場にしたい。」という提案があった。この提案を地元の方々に示して賛同が得られた場合、関係部局との協議を踏まえ、できるかぎりの協力をしたい。

今後の活用が検討されている旧麦生小中学校

政和会

◆藤島 文男 議員

枝成沢小学校の活用計画は

【問】 枝成沢小学校閉校後の利活用計画はあるのか。

【答】 保護者や地区の住民の方々の深い理解のもとに「枝成沢小学校閉校事業実行委員会」が組織され、平成21年度末の閉校に向けた諸準備が進められている。

閉校後の校舎等は、地区の方々の意見なども踏まえ、施設の有効活用について検討していきたい。（その他の質問／市民協働道路維持補修事業）

◆砂川 利男 議員

夢ネット事業の今後の取組み

【問】 夢ネット事業の今後の具体的な取り組みは。

【答】 各家庭への光ケーブル網の整備は、主に地上デジタル放送、携帯電話及びブロードバンド環境対策などの一方策として構想した。今後、地上デジタル放送対策は主に共聴施設等のデジタル化、携帯電話は既設の光ファイバーを活用してのエリア拡大、ブロードバンド対策は携帯電話

●一般質問

――民主党　小倉　建一　議員

交通安全のため市道久慈川線の車両待避所整備を

市長―整備の可能性検討、道路維持補修面でも対策を講じる

【問】市道久慈川線の交通安全対策のため、まず車両待避所の整備を。

【答】交通混雑の解消や安全対策として、有効な手段の一つと考えており、整備の可能性について検討したい。旧給食センター付近は、市営住宅移転改築工事に伴い、ある程度の拡幅を考えている。またこの路線は路肩管理の苦情等も多いことから、道路維持補修の面でも対策を講じたい。

【問】久慈小学校改築に伴う市道久慈小通り線の代替路線整備の取り組み状況は。

【答】新校舎の配置計画等の精査と合わせ、周辺の道路状況等も調査し検討したい。

【問】スポーツ振興計画策定状況は。また、振興計画には当然、野球場等施設整備計画も載せるべきでは。

【答】今年6月に市スポーツ振興審議会を開催し、計画素案について意見をいただいた。今後、原案を作成し体育団体等への説明会を開催しながら意見集約し、本年度中に策定したい。施設整備計画については、市総合計画の兼ね合いから盛り込まなかったが、いつでも載せられるという姿勢で臨んでいきたい。

待避所整備が望まれる市道久慈川線

【問】クライペダ市派遣団訪問事業の具体的成果と一人当たりの旅費及び個人負担額は。

【答】記念調印により友好関係の再確認をし、文化交流及び特産品などの販売を通じ多くの市民の興味、関心、評価を得るなど一定の成果を得た。

旅費は一人37万8千円、個人負担は1万5千円となった。

【問】公約でもあった市長多選自粛条例制定についての現在の考え方と提案時期は。

【答】引き続き法律解釈や所要の法整備を含めた国等の動向を注視しつつ提案の内容、時期等を見極めたい。

【その他の質問項目】

雇用対策／第一次産業振興策／観光振興策／中心市街地活性化策／街並み景観への取り組み／大川目線整備　ほか

のエリアにおける高速データ通信サービスの展開などにより対応していきたい。（その他の質問／自然災害に対する対応策）

◆佐々木　栄幸　議員

久慈秋まつり前夜祭会場は

【問】久慈秋まつりの前夜祭会場の検討結果は。

【答】今年度の前夜祭会場は、久慈秋まつり実行委員会で昨年同様やませ土風館駐車場及び中町通りと決定した。

なお、「昨年好評であったことを受けての決定ではあるが、前回の反省点等を踏まえ、山車等の配置を計画している」と実行委員会から聞いている。（その他の質問／障害者自立支援法の改正）

◆下舘　祥二　議員

アンテナショップモデル事業

【問】アンテナショップモデル事業の状況は。

【答】8月20日、盛岡市みたけにオープンしたアンテナショップ「北三陸天然市場」は当市の海産物を中心とした特産品のPRと販路拡大を図ることを目的に委託した事業で、オープン当日は、大勢の買い物客で賑わい好評であったと聞いている。

今後も多方面から利用され、当市のPRもできるよう周知に努めていきたい。（その他の質問／林業振興）

◆大沢　俊光　議員

医師不足解消策の拡充を

【問】医師不足解消策拡充の考え方は。

【答】市では医師確保対策として、医師養成奨学資金貸付条例による医師の養成・確保などを行っている。市民の医療を確保するための新たな施策が必要であるとの判断から市内の公立病院の医師確保にも対応できる条例改正等を今議会に提案している。（その他の質問／宇部地区の市道ほか）

日本共産党久慈市議団

◆城内　仲悦　議員

畑田河原線などの整備促進は

【問】市道畑田河原線、同2号線、沢里川通り線の整備促進対策は。

【答】市道沢里川通り線は、

●一般質問

社会民主党　梶谷武由　議員

情報格差の解消策は

市長―技術は日進月歩、より良い方向で進めていきたい

【問】夢ネット事業による光ファイバー網に代わるものとして、携帯電話エリア内では「高速データ通信」で対応したいとしていたが、「高速データ通信」では市議会の中継などを見ることができないが対策は。また、携帯エリア外の対応は。

【答】携帯電話事業者各社では来年度から3・9世代電話サービスを提供し、光ファイバーと同程度の通信速度となる。技術はかなりの速度で進歩しており、より良い方向で検討していく。携帯電話エリア外への対応には民間事業者へ継続して要望していく。

【問】久慈小の学童保育所は多人数のため分割しなければならないが状況は。また、小久慈小の学童保育所建て替えに向けた整備の進捗状況は。

【答】久慈小近くの民家を借用して改修し、今年中に開所したい。

小久慈小学童保育所の新築移転は、用地測量・建築設計を委託中で平成22年3月完成を目指している。

【問】各種審議会への女性登用やリーダー養成の状況と市の女性管理職の登用状況は。

【答】審議会や委員会への女性の登用は、平成14年度21・6％であったものが、平成21年度は34・5％となっている。男女共同参画養成講座の認定者数は現在22名となっており、目標の30人に対し順調に推移している。当市には女性管理職はいないが、男女の区別なく積極的に管理職に登用していくことが重要であると考えている。

【その他の質問項目】

市税減収予想による事業執行への影響／市債発行額の増加と財政見通し／父子家庭へも児童扶養手当の支給を／久慈病院で出産時の手術ができる体制を／天候不順による農作物への影響／いわて森のトレーの裁判状況／農業用水路への家庭用雑排水の流入対策

分割予定の久慈児童館みつばちの家

平成19年度から整備に着手したところであり、市道畑田河原線と畑田河原2号線の整備については、現在整備中の沢里川通り線の進捗状況や財政事情等を勘案しながら検討していきたい。（その他の質問／介護認定の検証結果）

清風会

◆堀崎　松男　議員

久慈街道踏切歩行者安全対策

【問】久慈街道踏切の歩行者安全対策は。

【答】久慈街道踏切は、危険な箇所と認識しており、ＪＲ東日本久慈駅と市で歩行者の安全確保について調査し歩道の必要性は認められた。しかし、この踏切は駅構内という位置づけであり、早急に歩道の確保は難しい状況にある。歩行者の安全確保について今後とも継続してＪＲ東日本及び関係機関と協議を重ねていきたい。（その他の質問／地上デジタル放送の取り組みほか）

◆八重櫻　友夫　議員

都市計画道路の次期整備路線

【問】下長内旭町線完成後の都市計画道路の整備は。

【答】下長内旭町線の完成後は、国道45号から市街地への誘導を図る主要幹線道路としての機能向上を図る観点から、「広美町海岸線」を延伸し、国道281号へ接続する区間の整備に取り組んでいきたい。（その他の質問／市民バス運行）

◆髙屋敷　英則　議員

地域活性化臨時交付金の活用

【問】経済危機対策臨時交付金及び公共投資臨時交付金の活用内容は。

【答】「地域の実情に応じた、きめ細かな事業を積極的に実施する」という交付金の趣旨と「後年度に予定している事業の前倒しや財源等の問題から、積年の課題となっている事業の実施等に活用する」という考え方に基づき、地域商品券発行事業費補助金、地上デジタル放送対策事業ほか44事業に活用していきたい。（その他の質問／集落支援員／地デジ放送）

他市に学ぶ

市議会の4常任委員会は、それぞれの所管事項に関する先進地の視察を行いました。その概要について、各委員長から報告します。

総務委員会

委員長　大沢俊光

◆岐阜県大垣市（おおがきし）

◎地域資源・市民の能力を活かしたまちづくり

市民の能力や個性を地域資源に位置づけ、市民の社会参加、地域貢献を通じ、「人が輝けば、まちも輝く発想による協働のまちづくり」を確立、市民活動育成支援条例を制定し、構想推進のための「かがやきライフ推進部」（27名）を設置するなど、協働社会のまちづくりを推進していた。

市民活動団体の登録が145団体あり、団体の企画による事業を施策に取入れるなど、市民と行政の協働精神の成熟度の高さを実感した。

◆福井県越前町（えちぜんちょう）

◎町民バス運行事業

平成17年の4町村合併時に重点施策に位置づけ、隣接都市との連絡は路線バス、町内区間（不便、空白地帯の解消）はコミュニティバスと役割分担を明確にし、共存による公共交通体制が充実していた。

しかし、事務費はコミュニティバス委託料6千100万円、路線バス利用促進費1千900万円、路線バス維持補助2千万円であり、人口規模（2万3千人）としては高額と感じた。

◆福井県敦賀市（つるがし）

◎県境地域の交流創出

福井と滋賀の琵琶湖周辺地域5市10町で構成。県境地域の共通課題を抽出し、地域産業の振興と人的交流、自治体相互の協調を深め、地域の発展を図る広域活動を視察した。八戸・久慈・二戸三圏域との事業対比や類似内容を参照することができた。

◆福井県勝山市（かつやまし）

◎歴史遺産の保存と活用

入館者25～30万人で国内最大級の県立恐竜博物館を視察。建設費91億円、展示費31億円には驚いた。岩泉町で発掘された恐竜化石の展示もあった。人類356万年前の足跡の化石（人類が直立歩行した証）には人類や地球の歴史的奥深さを感じた。

大垣市で説明を受ける総務委員

教育民生委員会

委員長　佐々木栄幸

◆北海道旭川市（あさひかわし）

◎特徴的な子育て支援施策

旭川市では、平成18年度に「旭川市民まちづくりアンケート調査」を実施。将来を見据えたまちづくりの中で最も優先度が高い施策として、「子供を生み育てやすい環境の充実」が上げられたことなどから、平成20年5月に機構改革を行い、今まで教育委員会、総務部、市民部、保健所で行っていた子育てに関するすべての事務事業を、新たに設置した子育て支援部に集中した。子育て支援のメニューも69事業と多く学ぶべきことの多い研修であった。

◆北海道深川市（ふかがわし）

◎学校給食における地産地消の取り組み

昭和53年から米飯給食を始め、当初は道内産米の使用割合が20％であったが、その後、使用割合を増やし、昭和63年には100％とし、平成12年1月からは「深川産ほしのゆめ」、平成20年10月からは「深川産ななつぼし」を100％使用している。

野菜については、JAきたそらちで作成している「野菜品目別集荷状況」を参考に、集荷時期に合わせた約24種類の地場産野菜を使用した献立としており、地場産品を活用した農産加工品も積極的に使用していた。

◆北海道赤平市（あかびらし）

◎医師確保対策

赤平総合病院の抱えている課題は、医師の不足と患者の減少、病院会計の赤字の三点。医師確保にアイディアを凝らし、積極的にテレビなどのマスコミを利用し、大々的に医師を募集するなどして、それぞれが一定の成果を上げ始めていた。

何よりも破たん寸前の状態にありながら、病院の存続を訴える職員の凄まじい熱気には目を見張るものがあった。まさに危機を媒介にしての「市職員の意識改革」が成功した事例でもあり、どんな問題でも、本気で取り組めば活路は開けるのだということを実感した。

市立赤平総合病院で研修する教育民生委員

産業経済委員会

委員長　澤　里　富　雄

◆三重県尾鷲市（おわせし）

◎農商工連携の取り組み

尾鷲市では、集客・情報発信を目的とした地場特産品情報交流センター「夢古道おわせ」が平成19年4月にオープンした。商工会議所が中心となって立ち上げた、㈱熊野古道おわせが、指定管理者として尾鷲の再生・活性化を図っている。地元農家との連携によって農作物などを確保し、農家の販路拡大やみえ尾鷲海洋深層水を利活用した特産品の販路拡大を支援していた。

◎企業立地について

平成18年に、名柄町に三重県の支援により海洋深層水の活用型工業団地を整備し、みえ尾鷲海洋深層水事業の中核企業として、海洋深層水飲料、ミネラルウォーター・塩・濃縮ミネラル（苦汁）などを製造している「尾鷲名水株式会社」と海洋深層水を100％利用した天然塩の製造販売を行っている「おわせ深層水しお学舎株式会社」の2社を誘致していた。

海に拓く当市としても、様々な分野に利活用の可能性があることから海洋深層水は研究価値があると思った。

◆和歌山県串本町（くしもとちょう）

◎教育旅行

平成16年7月に町内観光関係企業四社により準備委員会を立ち上げ、同年8月和歌山県内で初めて教育旅行誘致協議会を発足し、南紀のすばらしい自然を生かした体験型旅行としてスタートした。しかし、他地域との差別化を図れないことから、民泊事業への取り組みの必要性を実感し、先進地の視察や研修会を重ね平成19年10月から民泊に取り組んでいた。平成20年度は、13校中、8校が民泊し、合計2369名が訪れていた。

当市においても将来、湾口防波堤完成後の静穏海域を利用した養殖体験や海にふれる教育旅行に大いに参考となる研修であった。

串本町で研修する産業経済委員

建設委員会

委員長　下　舘　祥　二

◆福井県坂井市（さかいし）

◎坂井市景観計画

坂井市の美しい自然や固有の歴史、伝統・文化を守り、「美しいふるさと坂井」の実現を目指して景観づくりに取り組んでいる。

特にも特定景観計画区域においては「景観づくり協定」を締結し、補助事業を活用しながら、地域住民と一体となって景観づくりを行っていた。

当市においても将来を見据え、誇りと愛着を感じる景観づくりを実践していくことは非常に大切と感じた。

◆富山県砺波市（となみし）

◎都市再生整備計画

砺波市では、豊かで生活しやすい都心づくりを目指し、中心市街地を中心とした整備計画を策定している。

出町市街地地区を中心に、市民生活の向上、道路・公園の整備の促進を図り、現在では土地区画整理事業実施施行面積の割合が50％を超えるかなりの高水準となっている。

その一番の原動力は、住民の「自分達の街は自分達で作っていく」という意識の高さであり、当市においても意識改革が必要と感じた。

◆新潟県小千谷市（おぢやし）

◎小千谷市復興計画

小千谷市は平成16年の新潟県中越大地震により大きな被害を受けた。当初はライフラインの復旧で手一杯であり、ボランティアの受け入れ等多くの課題が浮き彫りとなった。

それらも踏まえながら、復旧のみならず震災を新しいまちづくりを考える機会として捉え、市民から1500件を超えるアイディアを募り、市民参加型の復興計画を策定した。復興は行政のみではなく、「みんなで復興、みんなの復興」を合言葉に、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを進めてきたことを強く感じた。もし当市でも災害があった場合、このような取り組み例を活かしたい。

砺波市で説明を受ける建設委員

No. 16号

■編集　久慈市議会広報編集特別委員会

■発行　久慈市議会　久慈市川崎町一番一号

■印刷　㈲ヘイハン印刷

平庭トンネル早期着工住民大会

10月３日に第８回国道281号平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会（同実行委員会主催）が、平庭山荘で開催され、多くの地域住民が参加しました。

政務調査費の執行状況

前年度、市が各会派に交付した政務調査費に対し、収支報告した内容を紹介します。

平均使用率は62％で、４会派と５人の議員から合わせて５７万９１２４円が市に返還されました。

政務調査費は、会派が調査研究するための経費の一部として交付するもので、本市では議員一人当たり月額５０００円を交付しています。

（単位：円）

項目		政和会	新政会	清風会	日本共産党久慈市議団	議長	公明党	民主党	社会民主党	無所属	合計
所属人数		7	6	5	2	1	1	1	1	1	25
交付額(A)		420, 000	385, 000	315, 000	120, 000	45, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	1, 525, 000
使途内訳	研究研修費				113, 650						113, 650
	調査旅費	172, 550	321, 600	102, 800			25, 700	53, 600	24, 650	24, 650	725, 550
	資料購入費	21, 280	18, 240	15, 200	6, 080	3, 040	3, 040	3, 040	9, 640	3, 040	82, 600
	広報費								17, 356		17, 356
	その他								6, 720		6, 720
支出合計		193, 830	339, 840	118, 000	119, 730	3, 040	28, 740	56, 640	58, 366	27, 690	945, 876
使用率(％)		46. 2	88. 3	37. 5	99. 8	6. 8	47. 9	94. 4	97. 3	46. 2	62. 0
返還額(A)－(B)		226, 170	45, 160	197, 000	270	41, 960	31, 260	3, 360	1, 634	32, 310	579, 124

※年度途中に会派に属する議員の異動等があったため所属人数に対する交付額が不一致となる会派がある。

傍聴席からひとこと

市議会を傍聴して

大久保　珠　美　さん
久慈市侍浜町

日頃から参加している侍浜公民館事業「女性学級・いきいき学級」の会員26名で議会を傍聴しました。私にとって初めての傍聴でした。

９月２日の午後は、政和会桑田鉄男議員の一般質問でした。夢ネット事業、地上デジタル放送の内容、し尿処理場の老朽化、保育料の軽減、閉校後の校舎利用など様々な議論が交わされておりました。

私自身、地デジが今一番の関心事となっております。普段からテレビの映りが一定しません。そういう事のないようにしてほしいと思います。

新しい給食センターは、省エネに配慮していると聞きました。エコはとても大切なことだと思います。地球温暖化が深刻な問題になっている今、一人ひとりの心掛け次第で環境も少しずつ変えられると思います。限りある資源を大切に日常の節制から始めたいと思いを新たにしました。

議員の皆さんには、日頃から地域と連携して行事などに取り組んでくださり感謝しております。市民の代表として地域の小さな声を聞き、赤ちゃんからお年寄りまで健康に、安心して暮らせる環境づくりをお願いします。

議会と市当局には、久慈市が今抱えている課題を一つずつクリアし、住み良い街づくりに努めてほしいと思います。

編集後記

議会広報編集特別委員会
委員　梶谷武由

●９月議会では、一般質問の他に、前年度の一般会計や特別会計などの決算について、各項目ごとに審議しました。条例改正や市営住宅の建設請負契約、除雪機械の購入契約などの審議を行いました。

●８月30日に行われた衆議院選挙で民主党が圧勝し、政権が交替しました。

これによって、国の予算の使い方も大きく方向転換されようとしています。

当市においても、これを機にこれまでの行政を振り返り、本当に必要な事業か、もっと効率的な執行ができないか、など再検討してみる必要があると思います。

●今年の秋祭りは例年になくたくさんの見物客でにぎわいました。天気に恵まれたこともありますが、テレビで報道された効果も大きかったと思われます。

山車の大きさ、立派さは県内一番。もっともっとＰＲしていこう。